

•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•

# 関東天然瓦斯開発株式会社 決算説明会



第143期期末

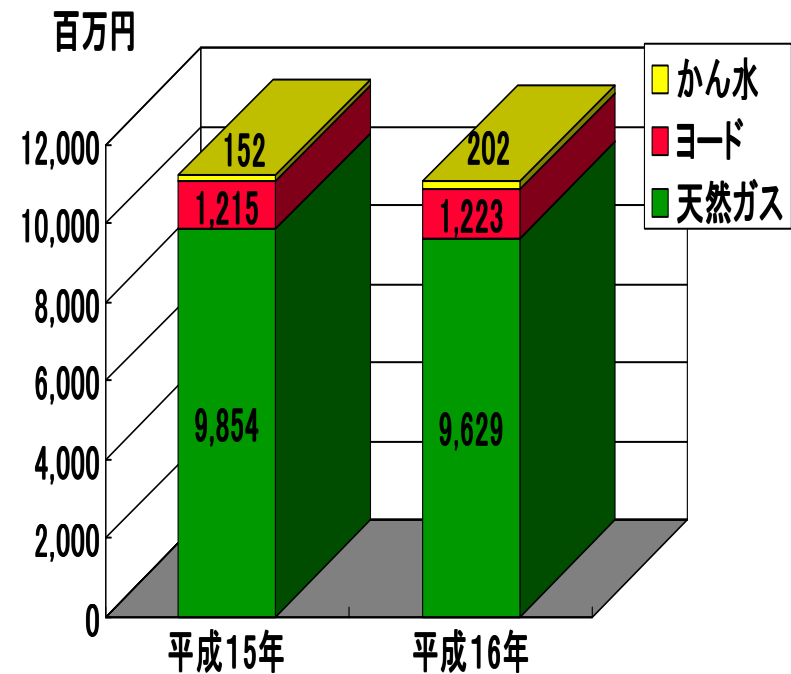
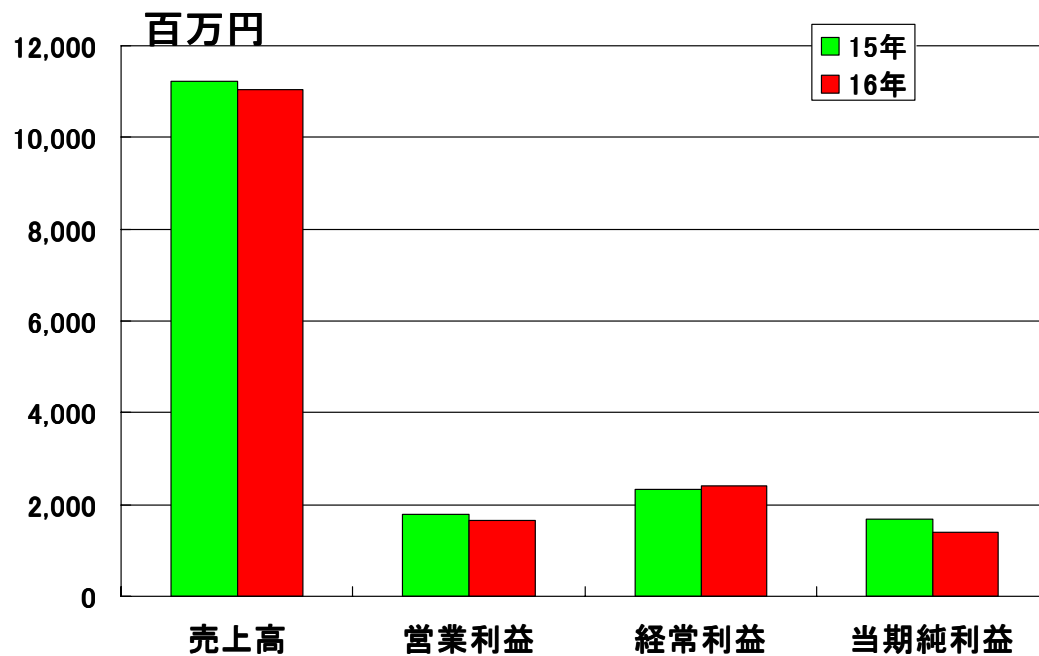
平成16年1月1日～12月31日

平成17年3月3日開催

<http://www.gasukai.co.jp/>

• • • • • • • •

# 決算概要(対前期) 《単体》

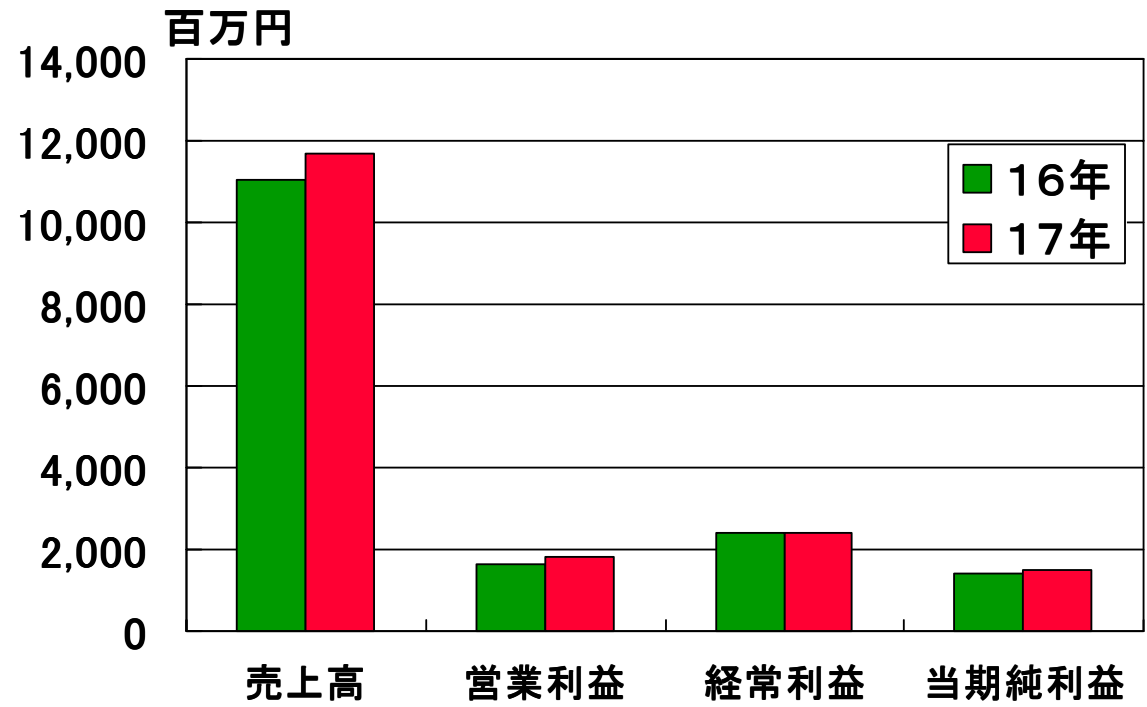


単位：百万円

	売上高	(天然ガス)	(ヨード)	(かん水)	営業利益	経常利益	当期純利益
15年	11,221	9,854	1,215	152	1,773	2,330	1,679
16年	11,055	9,629	1,223	202	1,643	2,411	1,397
対前年比(%)	△ 1.5	△ 2.3	0.7	33.0	△ 7.4	3.5	△ 16.8

•  
•  
•

# 平成17年収支見込概要《单体》



- ガスは販売量、売上高とも増加見込
- 営業利益：増益見込
- 経常利益：有価証券利息等の減少により今期並
- 当期純利益：固定資産除却損の減少により増益見込
- 為替（17年見込）  
100 円/\$

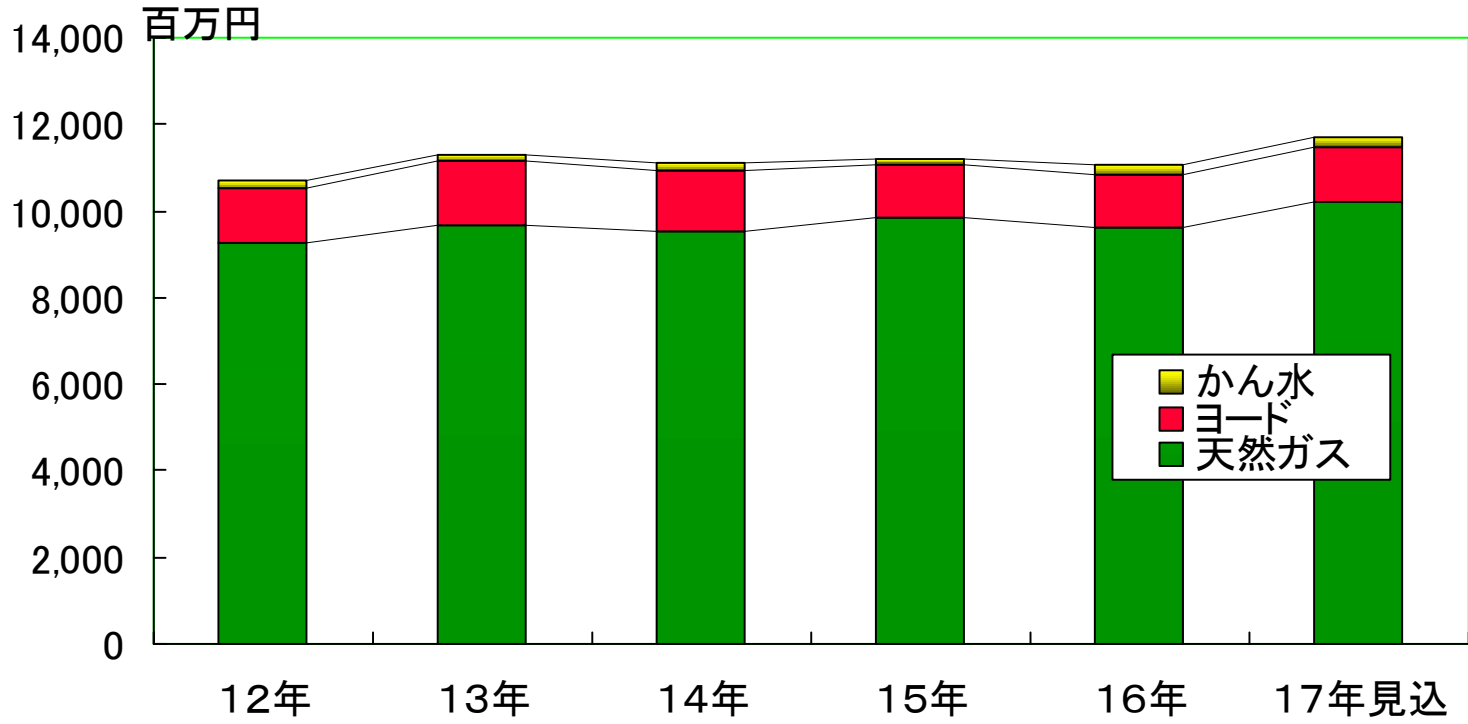
単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年	11,055	1,643	2,411	1,397
17年見込	11,700	1,800	2,400	1,500
対前年比(%)	5.8	9.6	△ 0.5	7.3

• • • • • • • • •

- 
- 
- 

# 売上高の推移 ‹‹ 単体 ››



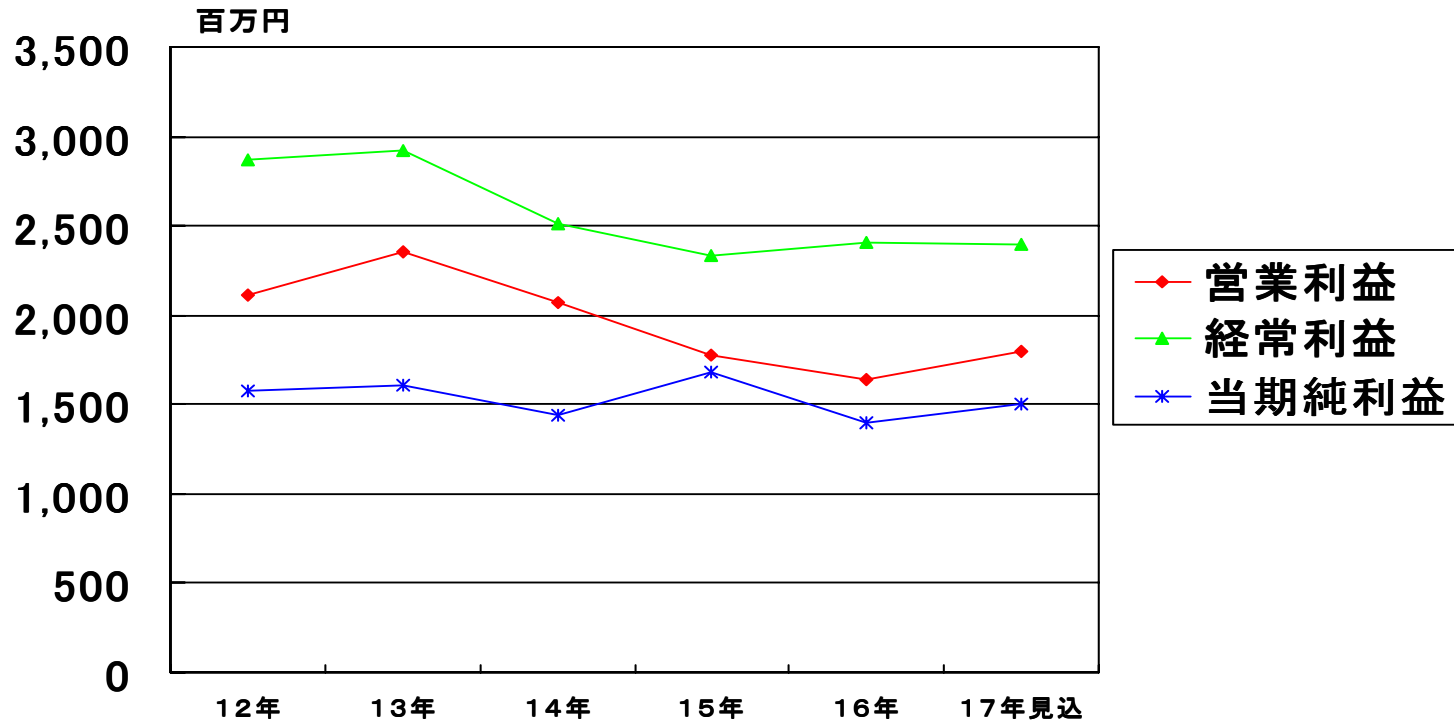
単位：百万円

区 分	第139期 12年	第140期 13年	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年見込
売上高	10,684	11,297	11,099	11,221	11,055	11,700
天然ガス	9,253	9,679	9,514	9,854	9,629	10,200
ヨード	1,259	1,456	1,427	1,215	1,223	1,250
かん水	170	160	157	152	202	250

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

- 
- 
- 

# 利益の推移 《単体》

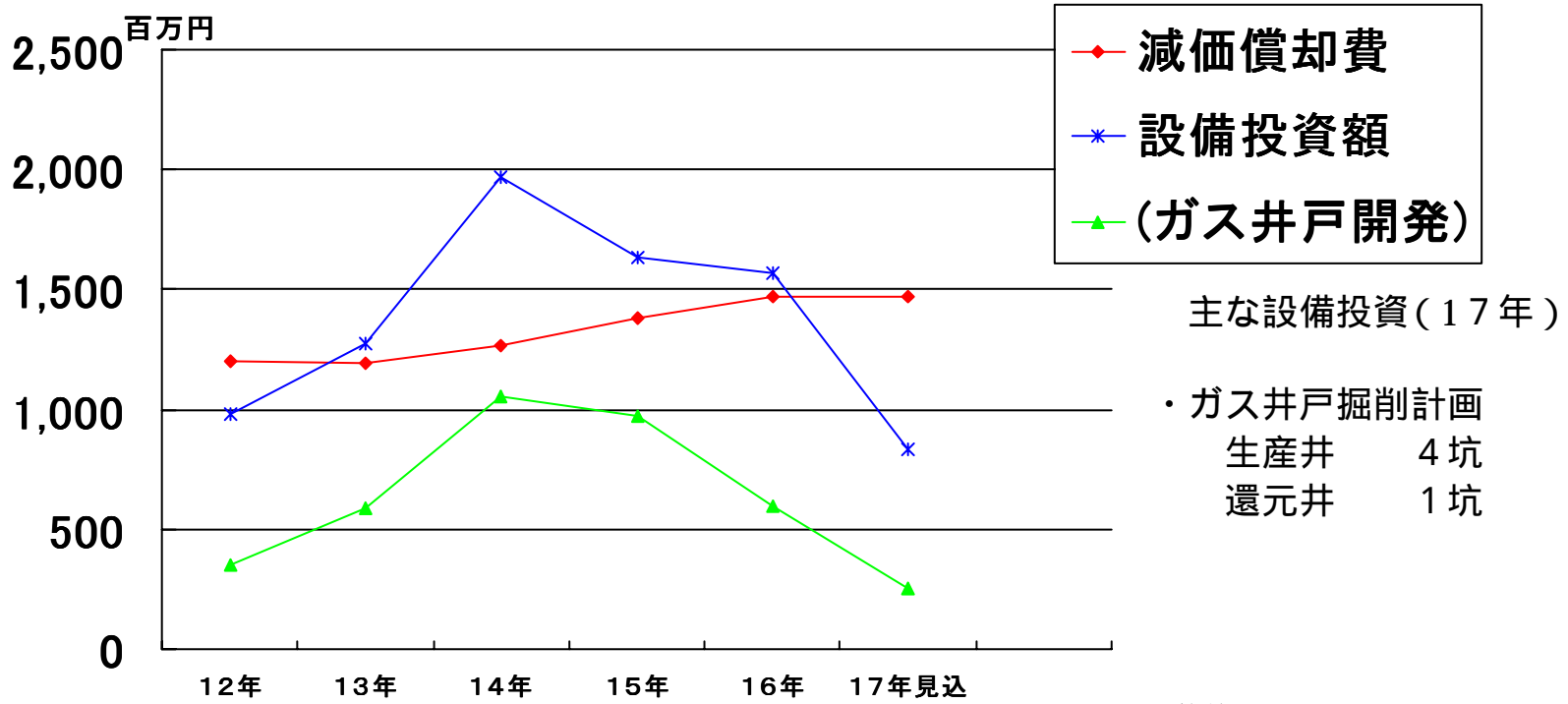


単位：百万円

区 分	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	12年	13年	14年	15年	16年	17年見込
営業利益	2,108	2,350	2,069	1,773	1,643	1,800
経常利益	2,872	2,927	2,508	2,330	2,411	2,400
当期純利益	1,572	1,607	1,438	1,679	1,397	1,500

- 
- 
- 

# 減価償却費・設備投資の推移 《単体》



区 分	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	12年	13年	14年	15年	16年	17年見込
減価償却費	1,200	1,189	1,267	1,382	1,471	1,473
設備投資額	984	1,273	1,969	1,632	1,569	830
(ガス井戸開発)	353	590	1,052	974	597	250



- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

- 
- 
- 

# 生産量、販売量の推移

区 分		第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
		12年	13年	14年	15年	16年	17年見込
天然ガス	生産量(千m <sup>3</sup> )	169,225	172,719	169,634	172,624	172,244	180,000
	販売量(千m <sup>3</sup> )	259,410	266,102	276,001	280,437	277,860	289,000
ヨード	生産量(t)	744	779	757	743	630	390
	販売量(t)	856	985	1,008	934	896	920
かん水	生産量(千kl)	15,823	15,603	15,450	15,241	15,654	15,700
	販売量(千kl)	6,865	6,522	6,437	6,246	8,059	10,800

天然ガスは、38.5MJ / m<sup>3</sup> 換算

H16/9 より、ヨード かん水の取引形態を変更

- 
- 
- 

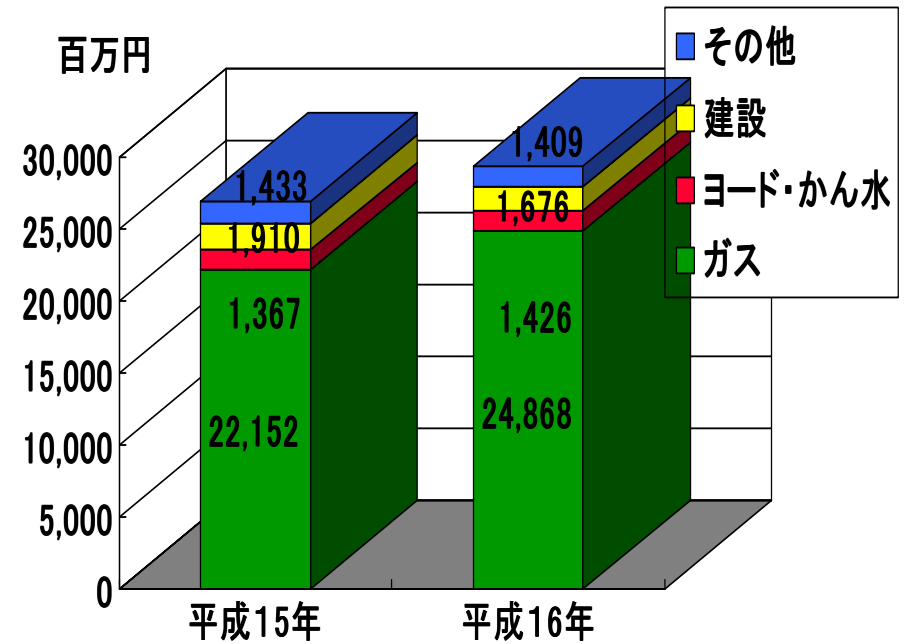
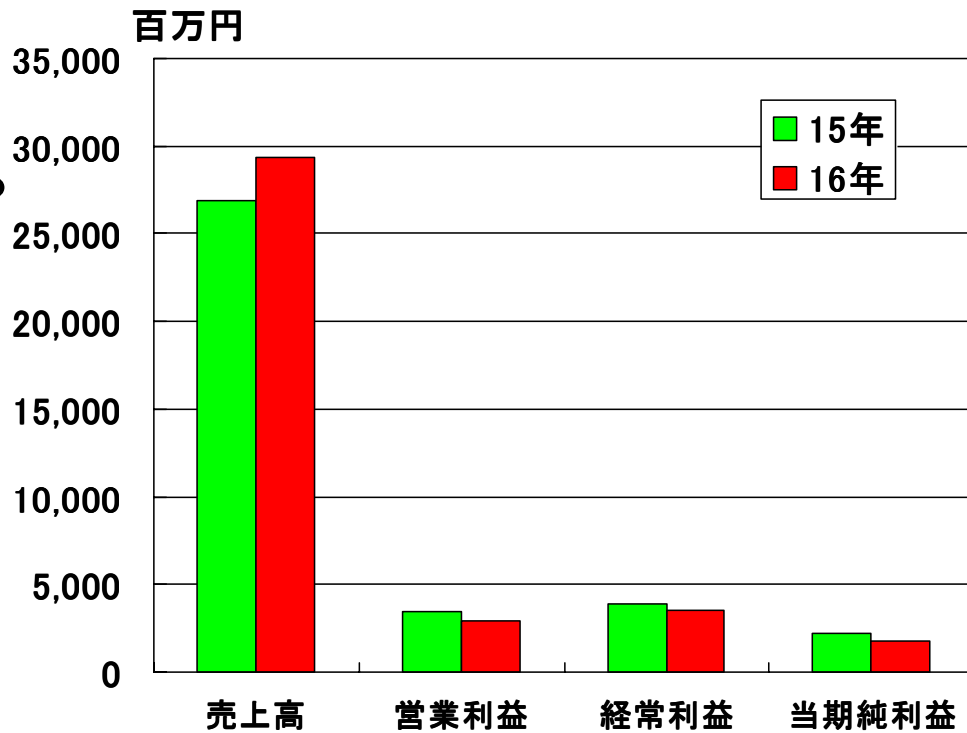
# 関東天然瓦斯開発(株)グループ

		関東天然瓦斯開発(株)	天然ガスの開発・販売、ヨードの製造・販売
子	連	大多喜ガス(株)	都市ガス事業
		オータキ産業(株)	圧縮天然ガス、LPG販売
	結	関東建設(株)	土木、管工事等の建設業
会	非	開発興産(株)	不動産業、リース業
	連	(株)テクノアース	さく井工事、地質・地下水汚染調査事業
社	結	(株)房総コンピューターサービス	コンピューターサービス業
		KNG AMERICA,INC.	米国における石油・ガス事業
会	関	日本天然ガス(株)	天然ガスの開発・販売、ヨードの製造・販売
		京葉パイプライン(株)	ガスの託送事業
社	連	(株)新栄エンジニア	工事設計等



- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

# 決算概要(対前期) 《連結》



単位：百万円

	売上高	(ガス)	(ヨード・かん水)	(建設)	(その他)	営業利益	経常利益	当期純利益
15年	26,863	22,152	1,367	1,910	1,433	3,459	3,896	2,209
16年	29,381	24,868	1,426	1,676	1,409	2,871	3,530	1,732
対前年比(%)	9.4	12.3	4.3	△ 12.2	△ 1.6	△ 17.0	△ 9.4	△ 21.6

・  
・  
・

# セグメント別売上高(対前期)

## セグメント別売上高

単位：百万円

	15年	16年	比較増減
ガス	22,152	24,868	2,716
ヨード・かん水	1,367	1,426	58
建設	1,910	1,676	△233
その他	1,433	1,409	△23
合計	26,863	29,381	2,517

### 主な変動要因

#### ガス売上増

- ・子会社における新規大口が寄与
- ・15年の期初が低気温  
16年は総じて高気温

家庭用等は減

#### ヨード売上増

- ・販売量伸び悩むも、販売価格は上昇
- ・為替が円高  
107円 112円 / \$ (前期)

#### 建設業

- ・受注減

#### その他事業

- ・大型物件向け / 家庭用器具販売の減



・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

# 損益計算書内訳《連結》

単位：百万円

	15年	16年	増減額
売上高	26,863	29,381	2,517
売上原価	15,867	19,103	3,235
販管費	7,535	7,406	△129
営業利益	3,459	2,871	△588
営業外収益	561	768	206
営業外費用	125	108	△16
経常利益	3,896	3,530	△365
特別利益	505	47	△458
特別損失	100	220	119
税引き前利益	4,300	3,357	△943
法人税等	1,683	1,308	△374
少数株主利益	407	315	△91
当期純利益	2,209	1,732	△476

## 営業利益

大多喜ガスの

- ・ 大口販売増

売上高は大幅増

利益率は低下

- ・ 期を通じて高めの気温  
家庭用等の販売量減
- ・ 前期（H15/6～）実施した値下げの影響
- ・ 仕入ガスの値上がり

## 当期純利益

- ・（前期）投資有価証券売却益を計上 今期はなし

# 貸借対照表内訳《連結》

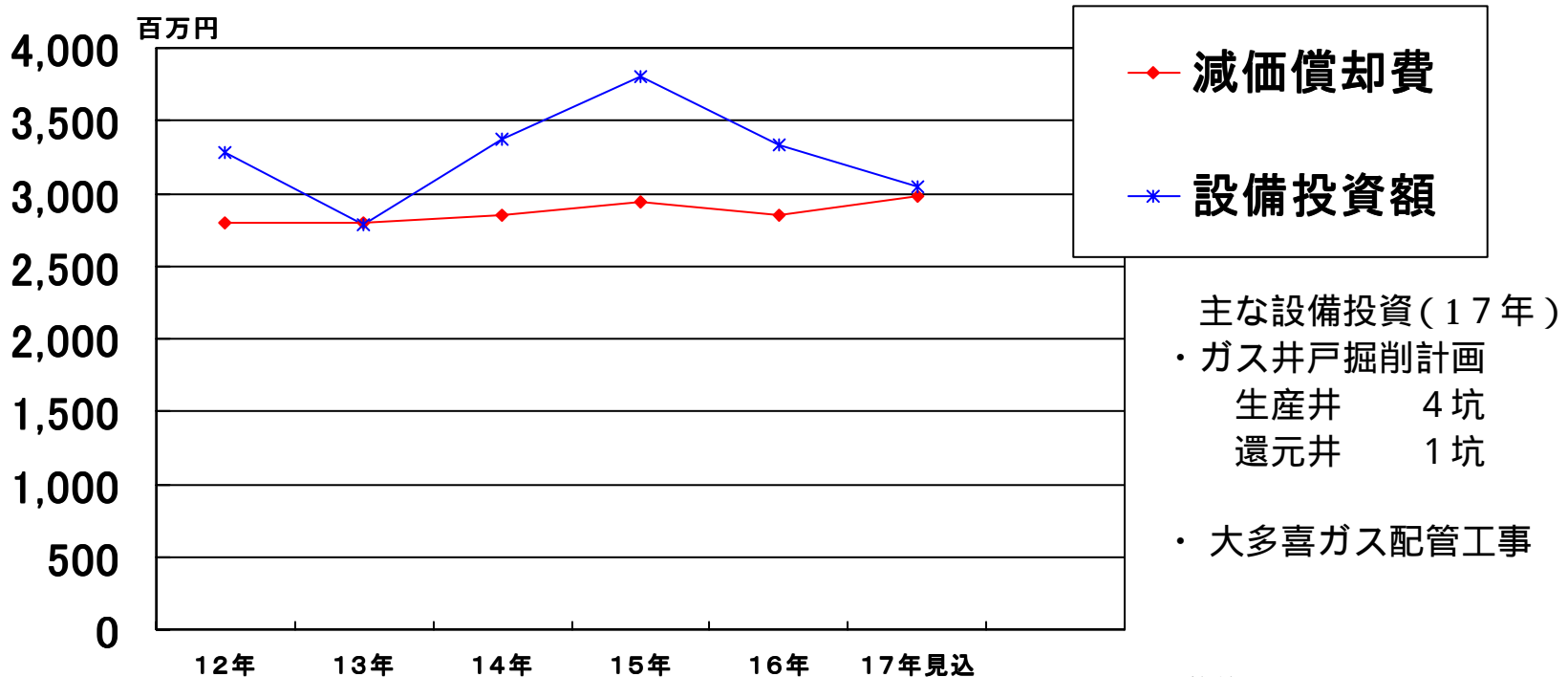
- ・有価証券の減・・・主にMMFの売却による
- ・投資有価証券の増・・・主に債券の購入と評価差益の計上

単位：百万円

	15年12月	16年12月	増減額		15年12月	16年12月	増減額
流動資産	24,265	22,617	△ 1,647	流動負債	8,595	7,683	△ 912
現預金	3,550	2,706	△ 844	買掛金・未払金	4,109	4,086	△ 23
有価証券	16,979	14,984	△ 1,995	その他	4,486	3,597	△ 889
その他	3,734	4,927	1,192				
				固定負債	6,088	6,613	525
固定資産	44,605	48,167	3,561	長期借入金	1,547	1,562	14
有形固定資産	25,690	24,761	△ 928	繰延税金負債	1,429	1,714	284
(建物及び構築物)	5,048	4,779	△ 268	退職給付引当金	2,877	3,065	187
(機械装置他)	11,735	12,629	894	その他	233	271	38
(その他)	8,906	7,352	△ 1,553	負債合計	14,684	14,297	△ 386
				少数株主持分	6,020	6,277	257
無形固定資産	809	784	△ 24				
				資本金	7,902	7,902	0
投資その他の資産	18,105	22,620	4,514	資本剰余金	8,260	8,260	0
(投資有価証券)	15,623	19,256	3,632	利益剰余金	31,560	32,826	1,265
(その他)	2,482	3,364	882	その他有価証券評価差額金	670	1,460	790
				自己株式	△ 227	△ 240	△ 12
				資本合計	48,166	50,209	2,043
資産の部合計	68,870	70,784	1,914	負債・少株・資本の部合計	68,870	70,784	1,914

- 
- 
- 

# 減価償却費・設備投資の推移 ‹‹連結››

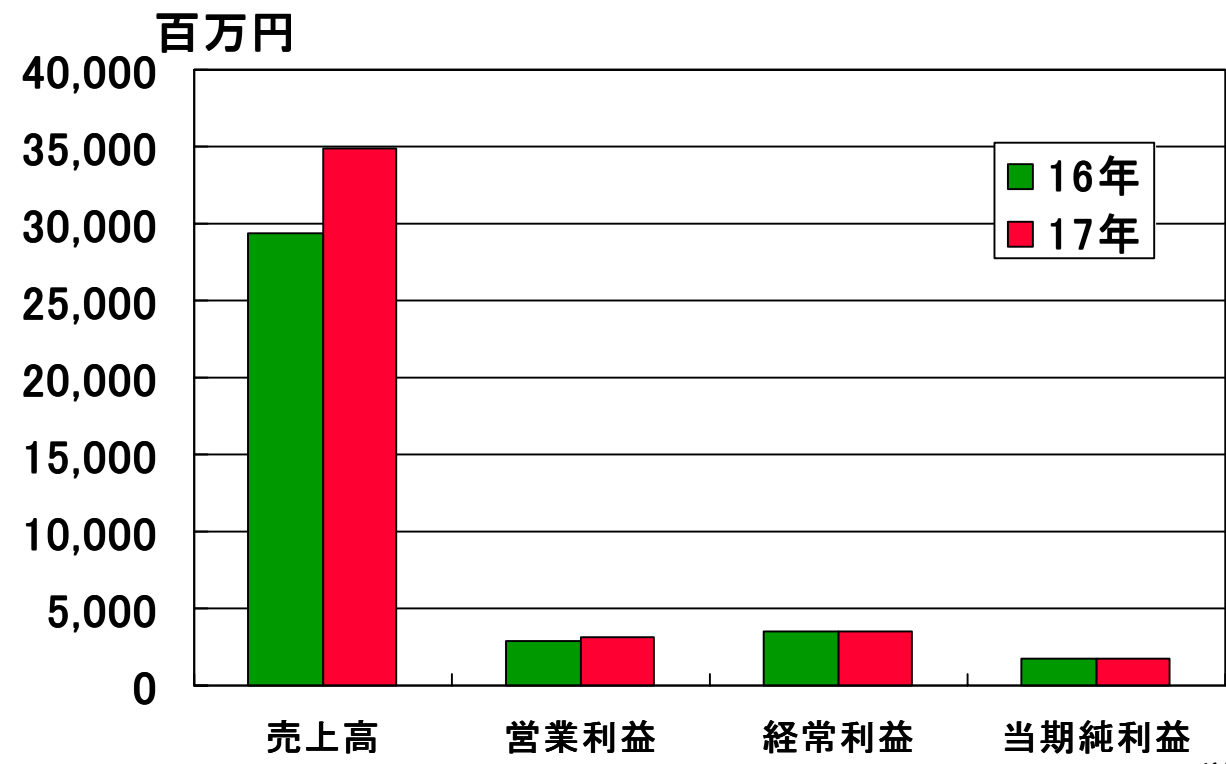


区 分	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	12年	13年	14年	15年	16年	17年見込
減価償却費	2,800	2,796	2,850	2,941	2,959	3,000
設備投資額	3,282	2,782	3,368	3,800	3,335	2,685



•  
•  
•

# 平成17年収支見込概要《連結》



- 都市ガス部門における新規大口ガス事業者への販売増  
売上高は大幅な増（利益率は高くない）
- 有価証券利息等は減少  
経常利益 / 純利益は  
今期並

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年	29,381	2,871	3,530	1,732
17年見込	34,900	3,100	3,500	1,800
対前年比(%)	18.8	8.0	△ 0.9	3.9



•  
•  
•

# セグメント別売上予想(対前期)

## セグメント別売上高

単位：百万円

	16年	17年	比較増減
ガス	24,868	30,400	5,532
ヨード・かん水	1,426	1,500	74
建設	1,676	1,700	24
その他	1,409	1,300	△ 109
合計	29,379	34,900	5,521

主な要因

ガス事業

- ・ 新規大口需要による販売増
- ・ 16年は期を通じて高気温  
一般向けも販売回復

ヨード事業

- ・ 市況回復

建設業

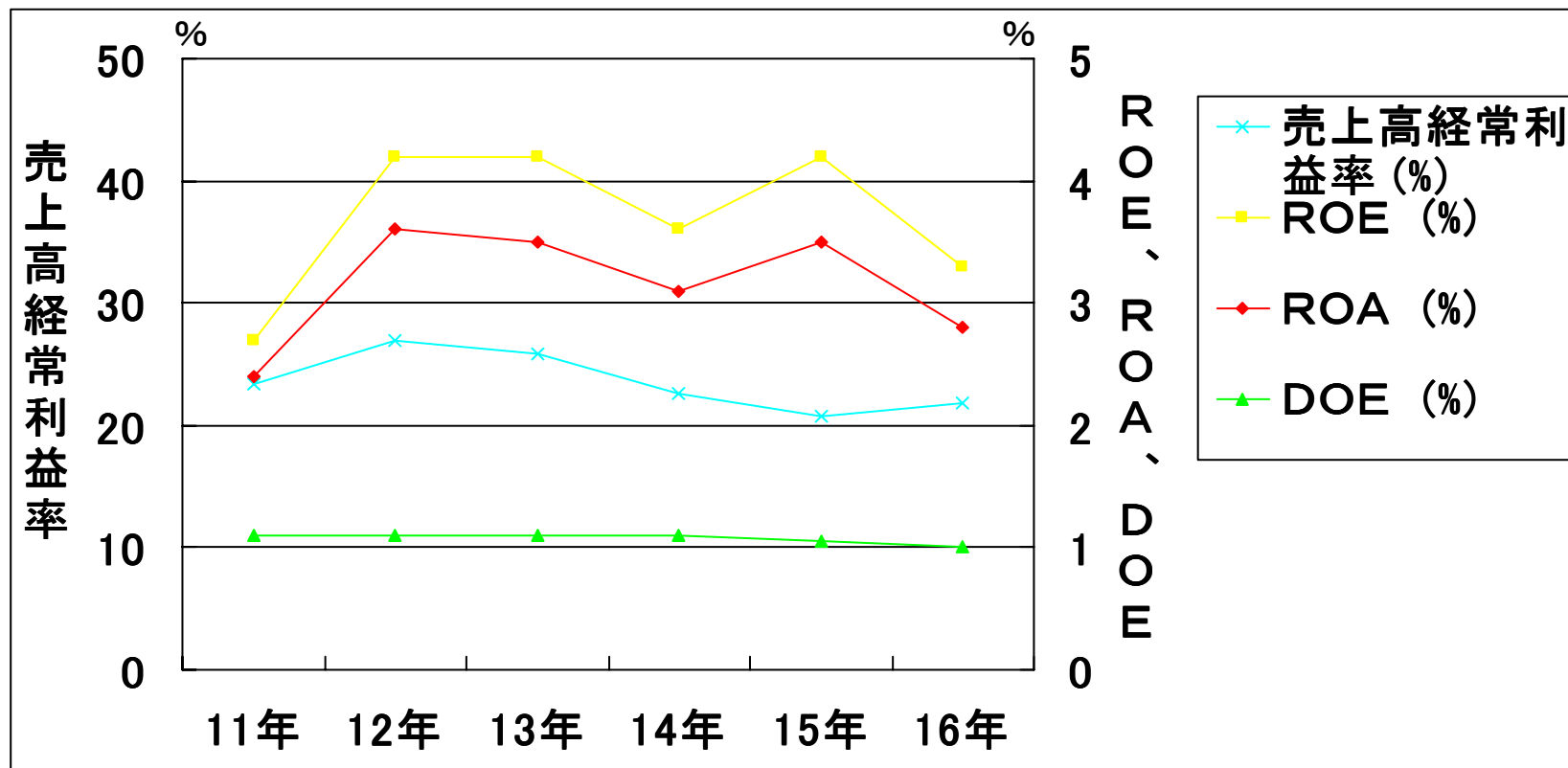
その他の事業

- ・ とともに厳しい受注状況

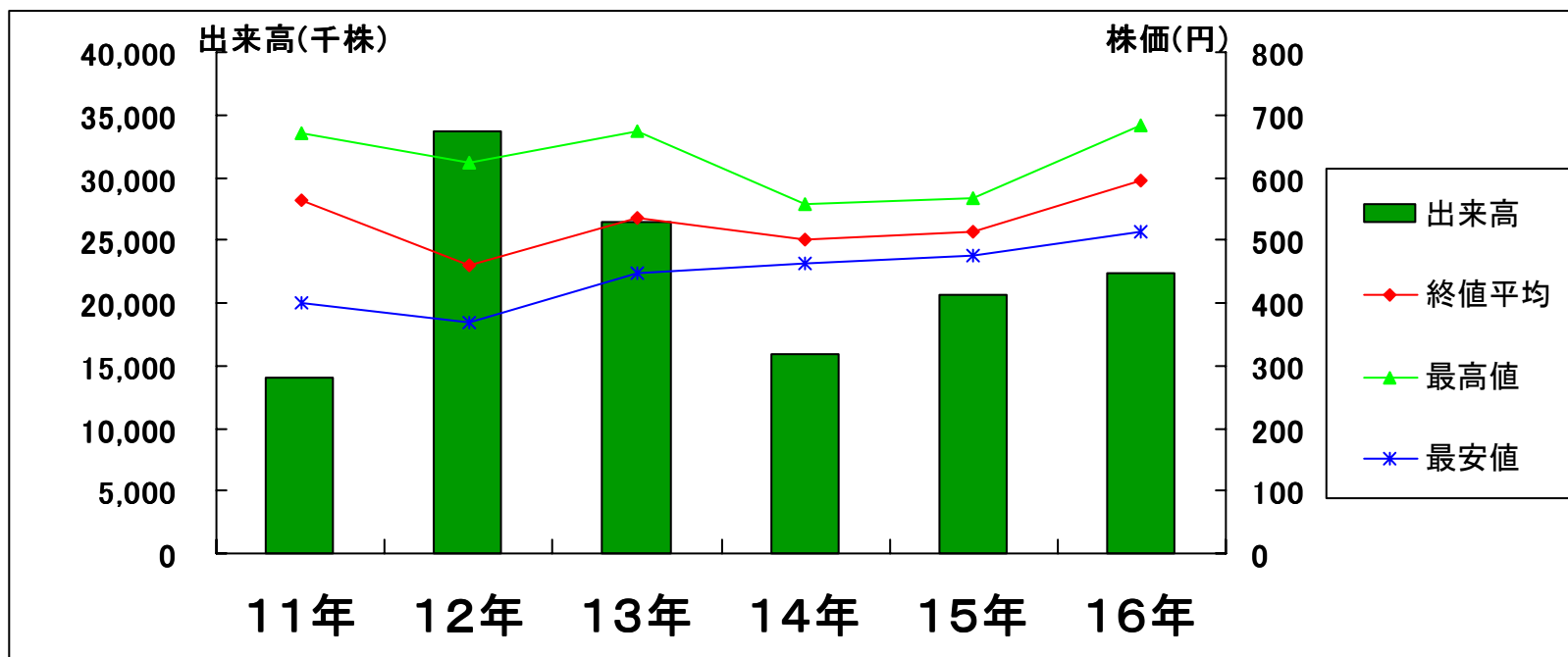


• • • • • • • •

# ROE、ROA《単体》



# 株価及び出来高の推移



	11年	12年	13年	14年	15年	16年
最高値	671	625	674	556	567	(10/4) 684
最安値	400	368	447	464	476	(1/9) 513
終値平均	565	460	535	502	513	594
出来高	13,984	33,696	26,478	15,861	20,698	22,301

# 株式の異動

平成15年12月31日  
〔株主数 6,058名〕

1	合同資源産業	(19,669千株)	32.24%
2	三井物産	(6,510千株)	10.67%
3	東京電力	(3,050千株)	5.00%
4	三井住友銀行	(2,614千株)	4.28%
5	SNFE MAC JAPAN	(2,490千株)	4.08%
6	※日本スタートラスト信託	(2,379千株)	3.90%
7	※日本トラスティサービス信託	(1,946千株)	3.19%
8	※資産管理サービス信託	(1,497千株)	2.45%
9	中央三井信託銀行	(1,162千株)	1.90%
10	三井生命	(1,022千株)	1.67%

注： ※は信託口

比率は出資比率

平成16年12月31日  
〔株主数 5,453名〕

1	東京電力	(13,050千株)	21.39%
2	合同資源産業	(9,669千株)	15.85%
3	三井物産	(6,510千株)	10.67%
4	三井住友銀行	(2,614千株)	4.28%
5	※日本スタートラスト信託	(2,583千株)	4.23%
6	中央三井信託銀行	(2,338千株)	3.83%
7	SNFE MAC JAPAN	(1,847千株)	3.02%
8	※日本トラスティサービス信託	(1,626千株)	2.66%
9	ソエテジエネラルバンク&トラスト	(1,245千株)	2.04%
10	千葉銀行	(912千株)	1.49%

# 株式の異動(2)

## 筆頭株主異動の狙い

### 資本面と事業面での課題

- 従来株主構成は合同資源産業(株)が単独で30%以上の議決権。2位以下と大きな格差。
    - ・当社保有の同社株式は、議決権を(商法上)行使不可。
    - ・環境問題等から需要の伸びに追いつかない天然ガス生産量。
    - ・(サハリン等の安価な)LNGとの価格競争
- ⇒ これらの課題を一括で解決する方法として、合同資源産業(株)から東京電力(株)への一部株式異動。
- ⇒ 海外要因に左右されない国産天然ガス+LNG供給力という太い柱  
合同資源産業(株)とは、今後も協力体制を継続。

# 配当政策

- ガスの安全供給・安定供給が最大の使命
- 景気変動に左右されにくい収益構造
  - 単年度決算に左右されない配当
  - 長期的且つ安定的な配当
  - **年 7円／株配当の継続**
- 事業環境の変化／エネルギー間競争は激化  
／サハリンプロジェクト／ガス導管の開放
  - 投資原資の重要性高まる
  - **内部留保を厚く保つべき**
- 1株当たり当期純利益／配当性向

15年	27.24円	25.7%
16年	22.58円	31.0%
17年予想	24.28円	28.8%